広報 Ibaraki Public Information
いばらき
2025年（令和７年）
11月１日　発行
11
No.1140
November 2025

◆編集・発行
茨城町 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029－292－1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口
住民基本台帳
令和７年９月末現在
男　15,134人
女　15,103人
総人口　30,237人
世帯数　13,708世帯

◆茨城町民憲章
1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
1 隣人や家庭の愛を大切にして、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
1 自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

◆町の花　桜
◆町の木　梅
◆町の鳥　うぐいす

◆町の防災行政無線が聞き取れなかった場合
防災行政無線テレフォンサービス
☎０８００－８００－８８４８
（通話料無料）
町ホームページにも放送内容を掲載しています。

◆町の情報発信中!!
●町公式ホームページ
https://www.town.ibaraki.lg.jp/
●町公式Ｘ（旧ツイッター）
https://twitter.com/IbarakiTownMati/
●町公式インスタグラム
https://www.instagram.com/townibaraki_official/
●町公式ライン
https://page.line.me/?accountId=ibarakitown

里山に育む生きものたち

№160　ハジロカイツブリ

学名　*Podiceps nigricollis*

写真・文　仲田　立

冬羽のハジロカイツブリ

▼ハジロカイツブリ（羽白鳰）とは

和名の由来は、次列風切が白いことで、飛翔時に目立ちます。雌雄同色で、虹彩は赤く、嘴がやや上に反っています。冬羽は、頭部から脇、体の上面が黒い。夏羽は、目の後方に金色の飾り羽があります。冬鳥として湖沼や沿岸など主に淡水域に飛来します。

ハジロカイツブリは、密集して一斉に潜水し浮上しながら、魚や昆虫類などを移動しながら捕ります（写真１）。涸沼では普通にみられ、冬羽の印象が強いですが、５月ごろまで残っている個体は夏羽（写真２）になります。

鳰とは、よく水に潜る水鳥という意味で、他にはカンムリカイツブリ、カイツブリ、ミミカイツブリなどが涸沼で見られます。

▼ハジロカイツブリの数

涸沼でハジロカイツブリは、１番目に多いカイツブリ類で、ここ10年の間、11月から３月の多い時に５００羽ほど確認できる日がありました。通常では、他の群れには混ざらず、50羽程度の場合が多いです。

▼鳥の羽

鳥の大きな特徴は、飛ぶために進化し、特に羽を獲得したことです。鳥の羽は、飛ぶ、保温、防水など多様な役割を持ちます。大きく分けると、飛翔などに必要な正羽と保温と防水に特化した綿羽になります。

正羽の中で、風切羽は翼を形成し、推進力や揚力を生み出します。前述した次列風切は、風切羽の中で主に揚力を得るための羽です。尾羽は、飛行中に方向転換やブレーキなどの役割をします。

綿羽は、保温に特化したふわふわした羽で、人が羽毛布団やダウンジャケットに使います。

体羽は、体を覆い、保温、保護色など様々な機能を持ちます。

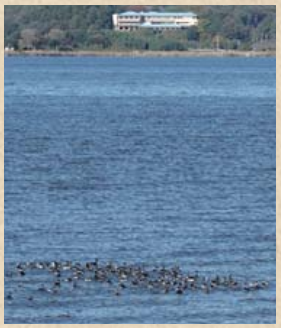
写真１
ハジロカイツブリの群れ
（涸沼にて撮影）

写真２　夏羽のハジロカイツブリ

ちびっ子アート　いばらき幼稚園

「クリスマス」
ふじい　うたこ（６歳）

「おたんじょうびかい」
きのうち　あん（６歳）

再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOY INK 環境に優しい大豆油インキを使用しています